

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課 文化財班	所属長名	朝比奈 竹男	電話	481-0304
-----	-------	-----	------------	------	--------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3790	事務事業名称	文化財保護普及事業				短縮コード	経常	3790	臨時	3791	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	文化財保護法, 文化財保護法施行令, 千葉県文化財保護条例, 千葉県文化財保護条例施行規則, 千葉県教育委員会の権限に属する事務の処理の特例に関する条例, 八千代市文化財保護条例, 八千代市文化財保護条例施行規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和26年に文化財保護法, 昭和30年に千葉県文化財保護条例の制定を受け, 昭和46年に八千代市文化財保護条例を制定し, 市民共有の文化遺産である文化財を保護し, その保存と活用のため必要な措置を講じ, それにより市民文化の向上と進歩に貢献するため事業を開始した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	02	第2章教育文化都市をめざして					
市街化の拡大に伴い, 市内に残る文化財の散逸や消失が今後とも加速するものと推測される。また, 現状において市内における民間開発等が次々と進められており, 埋蔵文化財の保護のための発掘調査は今後とも増加するものと判断される。					大項目(節)	03	第3節文化					
					中項目	02	2. 文化財					
					小項目	01	(1)文化財の保護と活用					
					細項目	02	②文化財の保護					
						04	④文化財説明板設置・更新					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市民 市域に存在する文化財 市域の埋蔵文化財及び出土文化財 		<ul style="list-style-type: none"> 市の指定文化財の所有者または管理者あるいは伝承団体 土木工事を伴う開発事業等を行う事業者及び個人 			
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: <ul style="list-style-type: none"> 文化財審議会の開催 市指定文化財の所有者等及び伝承団体に対する補助金の交付 土木工事等における埋蔵文化財の有無及び手続き等の確認と試掘調査 埋蔵文化財包蔵地における保存協議資料を得るための発掘調査と調査報告書の刊行 文化財啓発, 普及のための出土文化財の展示会等の開催と埋蔵文化財通信などの発行 					
	※平成24年度に計画していること: <ul style="list-style-type: none"> 文化財審議会の開催 市指定文化財の所有者等及び伝承団体に対する補助金の交付 土木工事等における埋蔵文化財の有無及び手続き等の確認と試掘調査の実施による埋蔵文化財の保護 開発事業における埋蔵文化財包蔵地の保存協議資料を得るための発掘調査と調査報告書の刊行 文化財啓発・普及のための出土文化財の展示会等の開催と埋蔵文化財通信などの発行 					
意図 (何を狙っているのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財及び未指定文化財の保護と継承 開発行為等における埋蔵文化財の保護及び保存のための遺跡の状況把握と保存協議のための資料の収集 発掘調査により出土した出土文化財の保存管理と活用 					
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外					
区分		単位	22年度	23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	指定文化財の数	件	25	25	25
	指標2	市域の面積	km ²	51.27	51.27	51.27
	指標3					
活動指標	指標1	補助対象とした指定文化財	件	21	21	22
	指標2	発掘調査した遺跡の調査面積	m ²	1,280.5	2,600	3,924
	指標3					2,000
成果指標	指標1	指定文化財補助金額	千円	410	410	4,188
	指標2	発掘調査・整理した遺跡の数	箇所	11	10	20
	指標3					9
上位成果指標	指標1					
	指標2					
	指標3					

コード	3790	事務事業名称	文化財保護普及事業		所属名	教育総務課 文化財班			
	単位	22年度		23年度		24年度			
		実績		計画		実績			
事業費(A)	財源内訳	国	千円	1,700	1,700	2,600	1,700		
		県	千円	425	425	425	425		
		地方債	千円						
		一般財源	千円	5,842	4,469	9,132	8,712		
	その他	千円							
主な事業費の内訳		<ul style="list-style-type: none"> 文化財審議会の開催(2回)99 指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(21件)410 市内遺跡の発掘調査(11件)3,822 		<ul style="list-style-type: none"> 文化財審議会の開催(2回)141 指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(21件)410 市内遺跡の発掘調査(12件)3,400 		<ul style="list-style-type: none"> 文化財審議会の開催(2回)92 指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(21件)410 地震被災の市指定文化財復旧工事補助金3778・市内遺跡発掘調査(20件)6,369 		<ul style="list-style-type: none"> 文化財審議会の開催(2回)141 指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(21件)410 市内遺跡の発掘調査(9件)3,400・指定文化財説明板修理(3基)534・整理室移転4270 	
人件費(B)		千円	30,517.2	29,850.5	36,116.2	33,630			
トータルコスト(A)+(B)		千円	38,484.2	36,444.5	48,273.2	44,467			

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由	
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	上位の施策「文化財の保護と活用」を推進するために、文化財保護普及事業を実施しており、直接的に結びついている。	
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	今後とも、未発見の文化財の把握に努め、また、市内に残る多くの文化財の保護を継続し、必要に応じて指定していくことが必要である。また、埋蔵文化財の保護のための発掘調査は、民間等の開発事業に伴って、今後も行わなければならない。さらに、自ら学ぶ生涯学習にとって、学習機会の提供等を含め普及啓発活動の必要性は今後とも、さらに増加するものと判断され、文化財保護のための中心的な事業にしていくことが必要である。	
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	文化財の保護は、文化財審議会を開催し、また、指定文化財への補助金の交付などとおして、市内に残る数多くの文化財を保護していくことである。さらに、多くの市民自身が過去の遺産としての文化財の大切さを学び、市民自らも自発的に文化財の保存保護に努められるよう、文化的活用を促す事業であることから、民営化には不向きである。 また、埋蔵文化財の保護は、開発等に伴う埋蔵文化財の破壊を事前に防止するために、所在する埋蔵文化財の内容を把握し、その保存や保護の基礎資料を得るために行う市内遺跡調査事業が市において直接実施することを前提とした国・県補助事業であることから、民営化はできない。	
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	これからも、文化財を市民共有の文化遺産として後世へ継承していくため、現状のとおり執行していくことが適切である。	
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性がない		
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等 <input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 <input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法	類似事務事業名称 1 2	実施主体(所管部署) 実施主体(所管部署)
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	専門職員の増員と育成	

コード	3790	事務事業名称	文化財保護普及事業			所属名	教育総務課 文化財班																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			現状に対応することを第一義的に行っている現状の文化財行政から、積極的に広範な普及啓発活動の実施や文化財の保護の拡充、埋蔵文化財の積極的な保護などを行うための改革・改善が必要である。とりわけ、指定文化財及び未指定文化財の保存状態の把握は今回のような大規模な地震がなくとも常時情報を集約するシステムの構築が不可避である。さらに、緊急事態に対する文化財の危機管理についても、県の動向を見ながらさらなる研究が求められる。また、出土文化財の保管については、効率的な管理・利用を促進するため、適切な改善または抜本的な改革が必要である。																						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	文化財保護のために基礎的な調査や積極的な保護活動のための経費が必要となる。また、専門職員の増員や現有職員の能力向上のための専門研修が求められる。	
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>経年劣化の著しい指定文化財の説明板の更新が強く求められている。</p> <p>市内に残る貴重な文化財を指定等の方策により積極的な保護を進めてほしい。とりわけ、出土文化財の指定が望まれている。</p> <p>出土文化財の展示会や発表会などを数多く実施して、現物を見せてほしい。</p>	

所属長コメント	<p>市内に所在する文化財や歴史について、特に出土文化財は展示会を開催するなど市民が自ら学ぶ機会提供と広報・普及活動に努めてきた。今後は市指定文化財を含めた啓発活動も具体化する必要がある。埋蔵文化財保護は本来は調査のみではなく、展示・活用も含まれるが、担当職員の減員のなかで効率的に実施するために、保管資料の一元化の研究を進めていきたい。なお、東北地方太平洋沖地震及びその後の大きな余震等により市内の文化財被災も確認され、平成23年度は市指定文化財は一部対処できたが、文化財行政上の制約もあり未指定の文化財についてはその被害状況と復旧活動の経過把握をすることにどまった。</p>			
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	市指定文化財を含めた啓発活動の具体化や、保管資料の一元化等について研究を進めること。専門的分野の職員の増員と育成については課題解決に努めること。また、未指定の文化財についても、文化財保護について研究すること。		